



【お問合せ先】  
明治学院同窓会事務局

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190 (FAX 03-3441-0970) (事務取扱い時間 9:00 ~ 16:00)  
<http://meigaku-dosokai.jp>

地域同窓会  
メリット

【同窓会に行ってみませんか】

◆ 1998年経済学科卒業 曾我佐和子

私は故郷（高知県）を離れているため、石川県内に明学OBの知り合いは全くいませんでしたが、石川県支部の同窓会報は自宅に届いていました。ある年の会報で、近所にお話をお聞きしたいと思う方が先輩でいらっしやることを知り、気になっていました。

ある時、職場で記念事業をする際、同窓会の方にお話をして、スムーズに繋いで戴きました。本当に感謝しています。同窓会ってこんなに頼れるところなのかとしみじみ思いました。

◆ 2007年国際学科卒業 小磯航

地元浜松に帰ってきてからは昔からの地元の友人との関係が多く、様々なことを学んだ『明学』について、懐かしんだり共感しながらの話ができませんというのには、寂しく感じるものがありました。そんな日々を送っていく中で、たまたま、明学同窓会の支部があることを知り、色々とお誘いを頂くようになりました。

私の様な若輩がなかなかお会いできない様な地元の有名企業の会長様・社長様などもいらっしやり、ご縁ができて仕事の勉強をさせて頂ける様になったり、またこちらも普通に仕事をしていただけで

2021年明治学院大学校友会主催『校友の集い』  
明治学院同窓会・明治学院大学校友会  
共同企画「あなたの地域の同窓会」について

明治学院大学校友会は、コロナ禍で中止となった2020年度「校友の集い」を、2021年度は「オンライン」で、明治学院同窓会との共同企画として開催いたしました。開催期間は2021年10月23日～11月4日で、大学校友会ホームページに特設サイト「同窓会支部紹介」⇒「あなたの地域の同窓会」を設け、明治学院同窓会を通して全国の支部に支部活動について寄稿をお願いいたしました。ご覧いただいた方もいらっしやると思います。

明治学院同窓会は、この企画が支部活動の活性化にも繋がるとの観点から、各支部に寄稿を呼びかけました。その結果、全国26支部の皆様から寄稿していただきましたが、これを短期間だけの掲載で終わらせてしまうのではなく、全国支部の活動の一端を広くみなさまにご紹介したいと、明治学院同窓会NEWS特別増刊号「あなたの地域の同窓会」として、冊子にまとめました。是非ご一読を頂きたいと思っております。

今後とも明治学院同窓会の活動にご理解・協力頂きますようお願い申し上げます。また、多くの方の同窓会へのご参加を心よりお待ち申し上げます。

Contents

ページ

- 1 地域同窓会メリット
- 2 札幌支部
- 3 道南支部
- 4 岩手県支部
- 5 栃木県支部
- 6 茨城みなみ支部
- 7 埼玉川越支部
- 8 千葉中央支部
- 9 東京大田支部
- 10 東京中央支部
- 10 東京港目黒支部
- 11 東京城北支部
- 12 川崎支部
- 13 横浜支部
- 13 湘南中央支部
- 14 石川県支部
- 15 静岡県中部支部
- 15 静岡県西部支部
- 16 奈良県支部
- 17 兵庫県支部
- 17 和歌山県支部
- 18 広島県支部
- 19 愛媛県支部
- 20 福岡県支部
- 20 沖縄県支部
- 21 ハワイ支部
- 22 ウィメンズクラブ「くらら会」
- 23 全国・海外支部一覧
- 25 明学ストリートのご案内

は接点がなかったであろう、自分とはまったく異なるジャンルの仕事をされている同窓生とお話をする機会ができてとても刺激をもらっています。世代が違うと話が合わないというのが一般的ですが、同じ母校というだけで話が盛り上がるもので、不思議なものだなとも思っています。

◆ 2011年心理学科卒業 谷敦子

同窓会は年が離れている方が参加しているイメージがあり、なんだか遠い世界のように思っていました。そんな私が兵庫県支部の同窓会に参加させていただいたきっかけが、大学時代に応援団チアリーダーイング部に所属していたことから、応援団の先輩に声をかけていただき、当時2歳の娘を連れて、参加させていただきました。不安もあったのですが、参加してみるとアットホームな雰囲気だなさに非常に優しくしていただきました。

身近に優しい先輩方がたくさんいらっしやあって、楽しい時間を過ごさせていただけました。また、私と同じように働しながら小さい子どもを育てる先輩ママもいらっしやり、非常に刺激にもなりました。同窓会で優しい諸先輩方・後輩にお会いできることを楽しみにしております。

◆ 2015年経営学科卒業 神谷崇行

私は、卒業後は東京の会社に就職しま

したが、学生時代から明学の同級生で縁があった妻との結婚を機に、妻の地元である広島県に移住することになりました。広島県の会社で転職し、仕事で知り合った同窓の方から明治学院同窓会広島支部の総会にお誘い戴きました。同窓会への参加をきっかけに多くの同窓の方と知り合うことができ、広島に移住してからも明学の輪が広がっていることで充実した日々を送っています。年齢、性別、環境にかかわらず、多くの同窓生が連絡を取り合い語り合うというのは同窓生のなかで「家族」のような不思議な感覚があるからかもしれません。

◆ 2019年英文文学科卒業 澤柳智香子

会社の上司（明治学院の先輩、1998年商学科卒業）に命じられ、参加してみました。面白かったです。

浜松商工会議所の副会頭をはじめ、色々なキャリアをお持ちの先輩方とアットホームな感じで歓談して、色々な情報、助言を戴きました。20代の先輩方とは横浜キャンパス、戸塚界限、学生時代の思い出で盛り上がりました。古物商の先輩の「焼き物」について講演がありました。土地、歴史や価値について色々知る事が出来ました。最後にクイズがあり、ラッキーな事に最年少の私が勝ち残って優勝し、素敵な賞品をゲットしました。

## 札幌支部

### 老若男女問わず 集まっています

皆さんこんにちは。私は明治学院同窓会北海道ブロック長兼札幌支部長の近藤裕志（1977年法律学科卒）と申します。

同窓会北海道ブロックには、札幌支部、小樽後志（しりべし）支部、道南支部、道北支部、十勝支部、北見支部、釧根（せんこん）支部の7支部があり、休眠中の道北支部以外は活動中です。

札幌支部は2020年に設立70周年を迎えましたが、コロナ禍で残念ながら周年記念の支部総会は開催できませんでした。支部総会には北海道深川市出身の元明治学院学院長、大西春樹氏のご講演を

いただく予定でした。（大西春樹氏は現在、学校法人東北学院院長でいらっしやいます。）

札幌支部総会には毎年50〜70人ほどの同窓生が参加しています。2019年度の参加者の年齢は20代から80代まで幅広く、まさに老若男女問わずお集まりで、時にはお子様連れの参加者もいらっしやいます。また札幌という町は転勤族が多く、異動で札幌支部にアプローチしてきた方には若手会有志で歓迎会や送別会も開いています。

新しい扉を開くのは勇気のいることですが、ぜひ気楽に同窓会札幌支部のドアをノックしてみてください。大勢の同窓生との出会いが始まりますよ。



## 道南支部

### 道南支部は 再立ち上げしました

明治学院大学を卒業して約二十年、2019年の秋に同窓会案内の往復ハガキが届きました。「えっ、函館で同窓会があるの？」とびっくり。私の知る限り、函館近郊で明治学院大学に進学する人は毎年一人いる？くらいの少なさで、大学名を聞いた人は必ず、明治大学？と聞き返してくる悲しい知名度なのです。函館にUターンしてから一度も同じ大学の方に会ったことがない私は、懐かしい気持ちで初めての同窓会に参加しました。

同窓会では、参加メンバーから聞く懐かしい話がたくさんありました。新しくなった校舎、懐かしのベルシバ、戸塚での2年間（私は単位を落として3年間通いましたが・・・）やゴージャス!?な白金Life。年代によって、学部の名前が違っていたり、覚えていない校舎の場所が違っていたりと、記憶を呼び覚ましながら、和気あいあいとみなさんとお話できました。

北海道・道南支部は、しばらく活動停止中であつたため、今回は再立ち上げをするための、再生第1回目の記念すべき同窓会でもありました。残念ながら、感染



## 岩手県支部

### 地域の話題の 情報交換ができます

岩手県支部の中村亮太です。この度岩手県支部の紹介を寄稿するにあたり、初めに簡単な自己紹介を行います。私は1996年4月に明治学院大学国際学部へ入学。ゼミやサークル活動、アルバイトなど思い出深い大学生活を過ごしました。国際学科の竹尾ゼミに所属しており、西表島で豊年祭に参加し豊作を喜んだこと。サークル活動では愛好会コール・ディ・ゾンネに所属しており音楽活動を楽しんだことや、愛好会協議会の一員として多くの仲間と知り合えたことが私の財産です。2000年3月に卒業し岩手で就職し現在に至ります。

岩手県と明治学院大学についてですが、私が卒業した2000年3月の卒業



生は約3千人。そのうち岩手県出身者は19名。岩手出身者の多くは東京、神奈川等首都圏に残り現在も活躍されています。

私自身卒業後は、明治学院出身者とお会いする機会も少なく、会う機会といえは東京へ出張した際や、友人の結婚式等で学生時代の友人達と再会する事でした。

同窓会へ出席する私の転機となったのは、岩手県支部では隔年開催していた同窓会を2015年より毎年開催するという案内を頂いた事でした。せっかくの機会なので参加してみたところ、幅広い年代の卒業生が参加していたことに驚きました。年代は異なっても学校の校歌や校舎の話題、白金、横浜キャンパスまでの通学路など話題は懐かしい話から、岩手で活躍しているあの方は明治学院の卒業生だよ。といった地域の話題まで情報交



換することでも有意義な時間を過ごさせて頂きました。  
 その後も毎年参加し楽しい時間を過ごさせてもらっています。そこで出会った方々へ明治学院卒業生であることを理由に訪問しお話をさせてもらったり、時には厚かましいお願いに対しても受け入れてもらったりと、明治学院の卒業生で良かったと思うこともたくさんあります。

### 仕事や趣味、人生のことなど いろいろな話ができます

私をはじめて参加した同窓会は職場の白金会でした。今から15年ほど前、職場の明学OBが10人を超えたところで先輩が同窓会を企画してくださり、以来、懇親会や新年会を開催するたびに、乾杯前に学院歌を全員で唄って同窓の絆を深めています。思い出深いのは、懇親会の時に「なつかしい学び舎を訪れて、学生生活を思い出す一時をみんなで過ごそう！」と話が盛り上がり、「明治学院ホームカミング」と題して日帰りツアーを開催したこと。昭和60年に横浜キャンパスが開校、平成15年には白金キャンパスの再開発が完了するなど、私たちが学んでいた当時とは大きな変貌を遂げている大学を訪れ、新たなキャンパスの雰囲気を感じるとともに、当時の思い出話に花を咲かせながら、楽しい1日を過ごしました。

岩手県は東日本大震災で甚大な被害を受けました。被害の大きかった岩手県大槌町と明治学院は2012年3月【DOSOKAI@東日本】プロジェクト】の連携協定を締結し、多くの学生が復興にご協力をしてくれました。そして卒業後も岩手の自治体、企業に就職し地域のために尽力してもらっております。  
 このような背景から卒業後間もない若

予定では、横浜・白金の両キャンパスを訪れ帰路につく予定でしたが、急遽、明治学院発祥の地である、東京一致神学校の跡地を探しに築地に行こうという話になり、かなり日も暮れていました。何とか記念碑を探し当てることができ、ホームカミングにふさわしいツアーの締めくりとなりました。

私はこの職場の白金会がきっかけで、県の同窓会にも参加させていただくようになり、毎回、多方面で活躍されるOB・OGの方々と交流し、大学の思い出だけでなく、仕事や趣味や人生のことなど、色々なお話ができることはとても刺激になり、いつも有意義な時間を過ごさせていただいています。同窓会というところでも高齢の先輩方の集まりというイメージが強く、世代の壁を感じて若い人たちが参加しにくいという話はよく聞きますが、私のように何かきっかけがあれば参加のハードルは下がると思います。そこで提案です。年代ごと、例えば80

い世代の方々も同窓会への問い合わせ、参加が増えてきたと喜んでいたのですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により同窓会は開催できていませんが、今後は人が集まる機会ができるようになった際には同窓会でお会いしましょう。そして時代を超えて明治学院や卒業生の近況等について語り合える日々が訪れることを楽しみにしています。

年代卒、90年代卒などのように卒業の年代ごとに幹事（卒業生が多い場合は複数名）を決め、同窓会開催の際にはその年代ごとに幹事の方が参加を呼びかけて、参加のきっかけをつくってみてはどうでしょうか。同じ年代の方が1人でも多く参加することがわかれば、世代の壁がなくなり参加しやすくなると思います。そしてもう1つ、同窓会を継続的に開催するため、開催の企画運営を卒業年代ごとに毎交代で行うというのはどうでしょうか。引継ぎなどを通じて年代間の交流もより活発になり、同窓会全体の活性化につながると思います。

私も微力ながら、明治学院同窓会発展のため、お役に立てればと思っております。

黒崎 彰弘  
 (1991年度卒  
 業経済学科)



### 再開や出会いにより、 人生が楽しくなります

明学同窓会の思い出と今後について、10年以上前、茨城みなみ支部で、土浦の花火大会会場で同窓会を開催したことがありました。その時も決して大人数ではなかったものの、様々な年代の方々が参加され、非常に盛り上がりました。私自身、参加して良かったと心から感じました。

この様に同窓会という会は非常に有意義な会ではありますが、気になった点もあります。それは、20代から40代という若い卒業生の参加があまりにも少ないという点です。これを解消するには、当然ではありますが若い人たちが参加したくなるような気持ちにさせるイベントなどが必要であると考えます。

例えば、先程述べさせて頂きました土浦の花火大会を升席で見ることや、又、ロックミュージシャンやアナウンサーなど若い世代の方たちが興味を抱く明学卒業生をお招きし講演や生演奏ライブなどを企画することも有効な手立てだと考えます。芸能事務所所属している方の場合、講演料・出演料が特に大きなネックとなると考えますが、そのような方をお招きする場合には、各支部単位ではなく明学全体での大きな企画とし、会場及びオンライン参加（EXZOOMなどで企画を受信）のハイブリッド型にしたりするなど工夫が必要であると考えます。（企

画の動画は一定期間、同窓会のHPで閲覧可能とする。）

その様にして、参加された方が、参加者同士で交流しそれが出会いのきっかけになりますし、芸能関係の方であれば新たなファンの獲得・知名度アップにもつながるなど参加することによるメリットは非常に大きいと考えます。

参加の方法であります。今の時代に合わせてオンラインでの交流会を開催することも重要であると考えます。ただ、ここまでの文章を読むとメリットどころかそんな話ばかりで一見すると下世話な感じもしてしまいますが、私としては、プライベート・ビジネスを問わず、同窓会に参加することによって始まった交流が自分自身の人生により良い影響を与える可能性があること、特に若い世代であれば、ビジネスでの仲間が増えたり、同窓会が縁で結婚したりもする可能性もございますし、シニア世代であれば同窓の仲間との再会や出会いによって人生が楽しくなるなど、世代を問わず、人生を豊かなものにするきっかけが同窓会にはあると感じます。

最後になりますが、これからの明治学院の歴史を担っていく若い世代の方々に同窓会に関わって頂くために、如何にして若い世代に参加して頂くかについて改めて議論することが大事だと考えます。方法はいくつでもありますし、又、同窓会として様々な可能性にチャレンジしていく事が大事であると考えます。同窓会

の活性化の為、今後も関わる事が出来ましたら幸いです。

関 裕一郎(経済学部経済学科2001年卒業)



「川越市」について学びませんか？

1991年11月22日、川越平安閣にて元学長金井信一郎氏を迎え、本部役員、支部会員13名で、埼玉川越支部を設立しました。1年半の準備期間を経て1993年6月12日初代長嶋支部長のもとに第1回総会が開催され、川越を含む上福岡、鶴ヶ島、坂戸、狭山、富士見、入間郡、地区に在住する同窓会員約750名(現在は約1200名)で組織されることになりました。

発足当時は同窓生にどんな人達がいるのか発起人の人たちは見当もつかなかった、ところが会員の中には、教授や社会福祉の仕事をしていたり経験豊かな方々がいらっしやいました。先ずは、卒業生である島崎藤村は川越に色々なエピソードを残しており、支部会員に藤村の偉業を知っていたかどうかと言ったことで、「後妻静子夫人の母親に送った茶室の事」「執筆をしていた割烹旅館佐久間での滞在記録」「入間川での鮎釣り」「加藤家の菩提寺、静子夫人の母みきの眠る中院」等を藤村研究会尾崎勝美氏(川越在住)、佐久間旅館の館主佐久間勇次氏、中院第67大師信海和尚の講話を何年かに分けてしていただきました。

又、最後に暮らしていた大磯町の住まい(鴨立庵)と藤村、静子夫妻の墓参(地福寺)を兼ねて支部会員と尋ねたこともありました。来年春は島崎藤村生誕



150年になります。平成23年には支部役員であった中野堯正氏(S26専商)所有の藤村直筆「明治学院校歌の写し(掛け軸)」の披露をおこないました。翌年、中院(不染亭)において仁平副住職へ掛け軸を贈呈し、同年、茶友会主催の大茶会がこの場で行われ掛け軸の掛かった茶室に支部会員も参加しました。

総会の場では、年度ごとに会員の中から講師をお願いして講演をしていただきました。●「子育てについて」杉浦宏氏(S17中学)東京国際大学特任教授 ●「米国と日本の芋比較」「さつま芋と私」ベリドウエル氏(川越は昔からさつま芋の産地であり、アメリカセーレム市と姉妹都市を提携した時橋渡役、奥様が岡野



- 正子さん(S45大英)
- 「明学学生気質と学院の近況」吉見昭徳氏(明治学院大学教授 S45英博川越在住)
- 「聞いて得する保険豆知識」松島恵氏(明治学院大学教授、上福岡在住)
- 「高齢者介護問題への提言」石橋宰氏(支部役員 S33大社)
- 「絵画美術について」「絵と私」四竈公子氏(支部会員 S34大社) 2年間続けて行いました。
- 「絵画の見方」大川栄二氏(桐生大川美術館館長) 見学の後、群馬桐生支部との交流。
- 「明学野球部の現状について」森山正

同じ時間を一緒に楽しみ、交流を深めましょう

私は、2006年に法律学科を卒業し、現在、明治学院同窓会千葉中央支部の幹事をさせていただいております。まず、千葉中央支部の設立経緯ですが、昭和40年代には、同窓会千葉地区は千葉県支部



- 義氏(野球部監督 S73大社)
- 「イングランドの地名について」吉見昭徳氏(明治学院大学名誉教授、S45英博川越在住)
- 近年は川越の歴史文化の話題が多く、「喜多院東宮の由来」
- 「川越城・本丸御殿」
- 「川越祭の見所」

- 「川越市内、旧町名の由来について」
  - 「幕末の川越藩」
- また、川越は観光客の増加もあり、着物のにあう街として小江戸川越変身処美々庵代表の舟橋園恵の講演と日本舞踊の披露等々。今年は設立30年を迎え、「記念誌」の作成に重点をおき事業を進めておりますが、この2年間会合も開けず同

が一つあったのみで、その後、同窓会活動の活発化を図るため、現在の6支部体制(千葉中央支部、千葉北総支部、千葉東葛支部、千葉船橋支部、千葉そとぼう支部、千葉房総支部)になったと聞いております。

次に、同窓会と聞きますと少し堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、千葉中央支部では、誰でもご参加いただきやすい楽しい同窓会を目指しております。是非一度、千葉中央支部の同窓会のイベントにご参加いただけましたら幸いです。ご参加のきっかけは、「一緒にお話や食事を楽しみたい。」「同じ趣味の人と交流したい。」「人脈を広げたい。」「明治学院を応援したい。」等々、何でも構いません。同じ時間を一緒に楽しみ、交流を深め、そして、明治学院の発展に繋がりましたら幸いです。では、これまでの千葉中央支部の同窓会の活動をここでは二つご紹介させていただきます。



まず、令和元年11月9日(土)、CHIBASKY WINDOWS 東天紅において、明治学院同窓会千葉中央支部の総会及び懇親会を開催しました。総会では、菊地支部長のご挨拶と活動報告などがありました。また、懇親会では、中華料理を楽しみ、歓談中に落研出身の菊地支部長こと夜半亭酔好に落語を披露していただきました。同窓生と一緒に楽しみ、交流を深めた場となりました。また、同年6月29日(土)、サッポロビール千葉工場において、工場見学を開催し

窓会活動が滞っており、残念な日々を過ごしております。今後は会員企業を「明学ストーリー」を活用したPR活動、また同窓会と校友会との一本化の動きもありますので、会員の若返りも考慮しながら会員増強を計りたいと考えております。伊藤幾造(1968年経済学部卒)

東京大田  
支部

アットホームな雰囲気  
最高です！

東京大田支部は東京23区内で初めての支部として1995年に発足し、現在では支部の同窓会員数は3000名を超える大所帯となりました。支部の活動としては、支部総会（同窓生の集い）が年1回開催される他に、散歩会、バスツアー、ランチ会などのイベントが年に数回開催され、支部同窓会員はもとより、他支部同窓会員も多数参加され、お互いの交流と親睦を深めております。

また、ミニライブコンサートも支部役員がオーナーのカフェにて、毎年開催され、こちらも大変好評で、多くの同窓会員の方が集まり、楽しんで頂いております。

支部の特色としては、長年に亘り、女性が支部長を務め、かつ支部役員にも女性が多いため、各イベントの参加者には女性が多めというところ、また前述の通り、支部役員の一人がカフェのオ

ました。工場見学では、巨大なビールタンクに圧倒され、ビールの製造工程などの説明を受けました。そして、工場見学の最後に、2種類のビールを飲み比べる試飲会があり、また、ビールを美味しくいただくための注ぎ方などの説明も受けました。さらに、工場見学の後は、併設されている千葉ビール園で食事を楽し

み、同窓生と一緒に楽しみ、交流を深めた場となりました。  
このように、千葉中央支部の同窓会では、楽しいイベントを開催してきており、今後も同様に、より楽しいイベントを開催していきたいと考えております  
千葉県内の千葉市、習志野市、四街道市、八千代市、市原市、東金市、山武市、

山武郡にお住まいの方、是非一度ご参加ください。  
ご参加を希望される方は、千葉中央支部長の菊地克之（1979年社会学科卒）までご連絡ください。  
飯田晃久（2006年法律学科卒）

なっており、総会はもとより、散歩会、ランチ会など全てのイベントが開催できない状況ではありますが、今後、コロナ禍も収束へと向かい、同窓会員の皆様にも安心してイベントに参加できるように状況になりましたら、またご案内をさせて頂きます。多くの方のご参加を心からお待ちしております。今後とも、東京大田支部を宜しくお願い申し上げます。  
高里 昇（1978年英文科卒）



東京中央  
支部

江戸の情緒と近代建築の囲まれた  
湾岸エリアの支部です

東京ブロック長、私、岡田（1983年社会学科卒）が千代田区観光協会の河川担当理事であることから、船を使った行事を行い、会員相互の連携と親睦を深めています。2019年8月24日には秋葉原和泉橋防災船着場を出発し、隅田川から湾岸エリアのオリピック会場が建設されたつつある有明地区、お台場、晴海を巡るツアーを開催しました。  
また、地域の行事にも同窓生にご協力

いただいています。  
2019年には前大学同窓会副会長の藤森智子さん（芸名深緑亭まりも）（80年社会学科卒）、落語研究会OBでイラストレーター「橋本金夢さん（68年仏）」に「さくらクルーズ」船での懇親会において、三味線、落語を披露していただき、大好評でした。



東京港・目黒  
支部

明治学院大学と白金高校を  
地元を持つお膝元の支部です。

皆様初めまして、港目黒支部です。名前の通り大学、高校の白金校舎を地元を持つ支部です。我が支部では例年（コロナ前）は、大学大会議室や、地元の同窓生の関連するお店、ちよっとおしゃれなお店などを利用して同窓生の交流を図ってきました。ご多分に漏れず、高齢化が進む同窓会の一つでもあります。若い世代の方々にも関心を持っていただきたいと、FBなど同窓会HPからのリンクを作成しています。一度ご覧ください。

現在は、コロナ感染防止を目的として、開催は見送っている所です。今後は、以下の様な事を考えております。同窓生との(1)同窓生のお店を通じた交流（結構

たくさんあります）、(2)地域での軽運動（歩く会）を通じた交流（歴史も現代も見学場所に困りません）、(3)芸術や文化活動を通じての交流などです（芸能人の方もいます）。地域近隣にある同窓生の

お店で食事を堪能、卒業生の落語拝聴体験、ちよっと話題のお店で、卒業生の特技などを披露していただいたり、参加された方は楽しく過ごしていただいています。HPやFBなどから探してください。



同窓会では設立の  
一番若い支部が誕生しました

2018年9月29日、明治学院同窓会の中で一番若い東京城北支部が誕生いたしました。練馬区・板橋区・豊島区・北区の4区をその範囲とし、会員は4500人を上回ります。その中から3人の若い会員の皆さんが、城北支部の活動に参加した感想を寄せてくださいました。

① 出口雅也さん

2011年法学部政治学科卒業 今尾ゼミ。サークルには所属していませんでした。埼玉県出身、東京都在住。現在の職業…医療機器営業職。

私が参加した同窓会は明治学院大学の校舎で行なわれました。卒業してから母校に行く機会がなかったので、とても懐かしく嬉しい気持ちになりました。同窓会では楽しい雰囲気の中、様々な業界で活躍されている方との交流ができるのが魅力です。世代や業界が違って同じ大学で学んだ仲間として打ち解けることができます。

② 神田久美子さん

1993年法学部法律学科を卒業しました神田(旧姓・若林)久美子です。宮本健三ゼミに所属し、愛好会オーストリアスキークラブで学生生活を謳歌いたしました。現在は、父が創設した印刷会社を事業承継し代表取締役をしております。

2年前に城北支部女子会@シエラトン都ホテルに参加いたしました。最高齢87



歳の大先輩から2007年卒業生まで。また、海外で長く生活されていた先輩のお話。何事にも興味を持ち、常に謙虚に学ぶ姿勢。たくさん刺激を受けました。コロナ終息後、またお会いできる機会を心待ちにしております。同じ学び舎を巣立ったご縁。まだ、参加されていない皆様とも繋がる日が来ることを祈っています。

③ 丸山莉佳さん

明治学院大学社会学部社会福祉学科を2013年度に卒業しました丸山莉佳と申します。ゼミでは、北川先生の児童福祉を専攻しておりました。児童養護施設などの福祉施設に実習へ行かせていただき、社会福祉士を目指し学んでいた日々が懐かしいです。サークルでは、戸塚祭



の実行委員会や手話サークルぼっけで活動し、地域の方々とも交流をしました。他にも、明治学院大学のオープンキャンパスのお手伝いをし、若い学生の皆さんへ明学の素晴らしさを伝える良い機会となりました。卒業後にも、大学と関わる機会をいただき、留学生に日本文化を伝える支援や、学長様や大学関係者の方々の幹事会にも出席させて頂きました。現在は、保育士としてインターナショナルスクールにて勤務しております。明

学で児童福祉を学んだ経験が、今活かされていると思うと、明学には本当に感謝しております。明治学院同窓会東京城北支部には、支部が設立されるパーティーに参加させて頂きました。世代を越えて、

多方面でご活躍されているOG・OBの皆様とお話でき、楽しい時間を過ごしました。ぜひ、校友会の方々もお気軽に同窓会へ顔を出されてみてはいかがでしょうかでしょう。

か。きっと新たな出会いが待っていると  
思います。)  
城北地区にお住まいの方、同窓会でお  
会いしましょう！  
飛木かおる(1976年社会学部卒業)

2022年、設立20周年に向け  
更に支部活動を活発に！

同窓会川崎支部第3代支部長の井上芳信(70年大法卒)です。川崎支部は20年以上の休眠状態から2003年に再立ち上げをし、2012年10月28日に大学本館10階に於いて10周年記念式典を行いました。その間毎年6月を目処に溝の口駅近辺での総会(2018・2019は小杉駅近辺)と秋の芋掘り、近年は女性主体のなでしこ会をやってきました。

今回のコロナ禍で2020・2021と学校側や同窓会本部の方針もあり自粛せざるをえませんでした。来る2022年は再立ち上げ20周年になりますので総会及び記念式典は行いたいと準備をして

います。我々支部役員の際は白金校舎と東村山グラウンドでしたが、その後横浜校舎・ヘボンフィールド・戸塚グラウンドと揃っています。川崎支部は歴史が浅いですが同窓会なり学校の卒業生名簿の住所を見ますとびっくりします。

隣接町内や駅近くのマンションにと石を投げれば卒業生に当たるのではという位いらっしやいますので役員は頑張っています。両校舎の沿線の品川支部、大田支部、横浜支部は古くからあり会員数も多く、活動状況も活発で手本としています。卒業後もクラブ、サークル、ゼミ仲間の繋がりはあるでしょうが、それ以外の方は卒業とともに縁遠くなってしまうます。一度地域の支部に顔を出せば各支部によって30〜100名の幅広い年代の



方々に会えます。  
知らない人ばかりと気後れせず来て下さい。1〜2時間後には10名以上の方々と学校の話、学生時代の話で盛り上がりますよ。卒業生の皆さん「あなたの地域の同窓会」に来てください。

同窓会を通して、新たな繋がりが  
お役に立っていただける支部です

私の所属する同窓会横浜支部は、明治学院横浜キャンパスのある横浜市に居住し、或いは希望される同窓生を中心とし

た、全国92支部の中で一番活動が活発な支部です。

学院の創設者「J.C.ヘボン氏」が設立した明治学院の源流へボン塾を記念した「ヘボン記念碑」の花植えや清掃活動、横浜支部会報誌「ハマシブ便り」を発行

する他、同窓生の懇親を深める機会として毎年定例総会、新年会、日帰りバス旅行や工場見学等を行っています。

特に定例総会や新年会では同窓生であるシャノン歌手の「田代美代子」さん、ジャズシンガーの「西村 協」さん、落

**2022年に設立70周年を迎える  
歴史と伝統のある支部です**

明治学院同窓会石川県支部は1952年の設立、来年2022年に設立70周年を迎えます。毎年4月「花見の会」11月「支部総会」を開催しております。恒例行事とは別に、随時、様々な催しをしています。

2019年3月には「女性の集い」を初めて開催しました。好評だったので継続の予定でしたが、コロナ禍のため中断しております。

石川県にお住まいの明治学院同窓生の皆様、何かございましたら、ご連絡下さい。

事務局 酒井修一（1971年経済学部卒）

2019年の春、石川県支部から石川県クララ会という女子の同窓会が初めて開催されると聞き、気軽に参加しました。その後は支部の先輩方とメールでのやり取りをするようになり、それまで往復はがきでの返信が主だった同窓会活動が少し近い存在になったような気がします。

**湘南地区の藤沢・綾瀬・茅ヶ崎・寒川郡を中心とした支部です。**

神奈川県下の同窓会支部は、私どもの支部の他に横浜支部、川崎支部、相模原支部、北相支部、東湘南支部、湘南支部の7支部が活動をしています。

最大支部の横浜支部を中心に各支部とも友好かつ親密な関係で交流をしております。湘南中央支部の対象エリアは、藤沢市、綾瀬市、茅ヶ崎市、寒川郡です。年間の主な活動は、下記の通りです。

① 春先に行う支部会員の方々への支部会報の作成と会報及び総会案内の発送作

業  
② 7月は総会・卓話・懇親会の開催（常時35人前後の参加）

③ 10月はSUC（湘南ユニバーシティクラブの略）湘南エリア18大学の合同同窓会への参加。毎年、持ち回りで幹事校を決め開催される。当日は、講演会及び親睦交流会を行う。

④ 11月は有志による各支部合同ハイキングの実施

その後にもコンサートや忘年会など楽しい企画がありました。仕事で参加できず残念です。

私は故郷（高知県）を離れているため、石川県内に明学OBの知り合いは全くいませんでしたが、支部からの同窓会報は自宅に届いておりまして、県内にも多く卒業生がいらつしやることを知りました。それでも同窓会には参加する機会がなく毎回届く会報を興味深く拝読しているだけでしたが、ある年の会報で、近所にお話をお聞きしたいと思う方が、先輩にいらつしやることを知り、気になっておりました。ちょうど職場（小松おやこ劇場）で記念事業をする際に、厚かましくも同窓会支部を通じて紹介していただきました。この時に、同窓会の方には、スムーズに繋いでいただきたことは本当に感謝しています。同窓会ってこんなに頼れるところなのかとしみじみ思いました。

今は仕事や様々な事情で故郷を離れている方も多いと思いますが、お近くの同窓会に参加してみても面白いのではないのでしょうか。共通の話題が多すぎて話が

語家の「春風亭正太郎」さん、講演として元・明治学院理事長、現・神奈川県立保健福祉大学名誉学長「阿部志郎」先生をはじめ様々な業界で活躍する同窓生の講演など、同窓生が幅広いジャンルで活躍している事が分かります。

また、懇親会や日帰りバス旅行はお酒が潤滑油となり、50〜90歳代まで幅広い年齢の同窓生が世代を超え、その時ばかりは誰もが学生時代に戻って明治学院大学時代の思い出を語り懇親と交流を深めています。

同じ学生時代を過ごした同級生やサークルの仲間との繋がりが「横の繋がり」であるならば、多くの先輩や後輩との繋がりは「縦の繋がり」です。横と縦の繋がりが更に新しい繋がりを作り、人間関

係の範囲をもっと広げ人生を豊かにすると思います。

当支部は、残念ながら若い世代の参加が少なくなっています。明治学院の伝統を受け継ぐためには若い世代に参加して貰う事が重要です。当支部の定例総会時や新年会時の懇親会や日帰りバス旅行は「楽しくてちょっと役に立つ」集まりです。バス旅行や工場見学は特に若い層の方が参加されることが多く、若い方は縦横の繋がりに絶好のチャンスです。

是非、「横の繋がり」に加えて「縦の繋がり」を作り、新しい繋がりが皆さんの今後の人生や人間関係を広げる事に役立てて貰えればと思います。

皆様の参加をお待ちしております。



弾みです。大学時代を懐かしむことで心のリフレッシュになるかもしれません。一昨年石川県クララ会について

NSで報告した際、友人や先輩から「うちの近所にも同窓会ってあるのかな？」という声が多くあり、意外とみんな求めているのかもと思いました。  
今は状況が許しませんが、もし自由に

**前年度に大学を卒業した  
会員から大先輩まで**

静岡県中部支部には会員数約250名の会員が在籍しています。年に1回開催されている総会には約50名程度の会員が参加し、親睦を深めています。前年度に大学を卒業した会員から、大先輩まで、多くの世代が交流を深める機会となっており、学生時代の話や御自身の職業などについて話を映かせています。

特に、若手の会員などについては、当日深めた人脈をきっかけに、各自の業務等に活かすことができている会員も少なくありません。総会では、交流を深める活動とともに、最近の明治学院大学の状

出歩ける時が来ましたら、昨年開催予定だった「おしゃれワインバーでの同窓会」や「兼六園の桜の見える料亭で一献」という正に金沢百万石のイメージのお花見会にも参加してみたいと思っております。

況報告なども行われ、母校への思いを深める場となっています。併せて、著名な卒業生や大学関係者に御講演をいただくなどの機会も設けられており、各自の教養を深める場にもなっています。

静岡県中部支部としての主な活動は総会のみですが、静岡県西部支部をはじめ、近隣の他支部との交流活動も行っています。他支部で行われている交流会等の活動に参加することにより、多くの方々との交流を広げることにつながっています。



静岡県中部地区にゆかりのある方は、ぜひ活動に御参加ください。  
望月祐介（1998年社会学部卒）

す。どうかみなさま、それまで元気に過ごさしになり、自然の美しい季節にお会いできますように。  
曾我佐和子（1998年経済学部卒）

**参加してみましたが  
面白かったです**

● 会社の上司（明治学院の先輩、1998年商学科卒業）に命じられ、参加してみました面白かったです。  
● 浜松商工会議所の副会頭をはじめ、

器について講演がありました。土地、歴史や価値について色々知る事が出来ました。

最後に、「焼き物、器について」クイズがあり、ラッキーな事に最年少の私が勝ち残って優勝し、素敵な賞品をゲットしました。写真中央下部が私。私の前が同窓会長、後ろが商工会議所副会頭。雲の上のお方かと思っていました。お話ししてみると身近に思いました。  
澤柳智香子（2019年英文学科卒）

色々なキャリアをお持ちの先輩方とアットホームな感じで歓談して、色々な情報、助言を戴きました。

● 20代の先輩男性女性と横浜キャンパス、戸塚界限、学生時代の思い出で盛り上がりました。  
● 古物商を営んでいる先輩の「焼き物、



**就職相談や人生相談、引越しの  
相談など気軽にできる**

明治学院同窓会奈良県支部は、かつては明治学院同窓会阪神支部に属し、神戸同窓会が記録に出てからでも115年という歴史を誇っていました。2009年に校友会の発足で奈良県支部が認定されましたが、唐突な校友会発足に疑問を持っていた事に加え同窓会に愛着をもっていた奈良県支部と大阪府支部は合同で阪奈通信を発行するなどしながら、実質は同窓会阪奈支部の形で総会と観光地巡りを兼ねて毎年集まりを持っていました。しかし残念ながら2012年阪神支部は解散総会を開き正式に解散しました。

現在の奈良県支部の現状をお伝えすると、2019年度末で支部在籍者119名。居住地は奈良市に46名。生駒市に17

名。大和郡山市に7名。天理市に6名。香芝市・大和高田市・桜井市に各5名。広陵町に4名。橿原市・河合町に3名。大和盆地の市町村に1〜2名づつという、意外に多くの同窓生そのほとんどが校友会生ですが、住んでいらつしやいます。私事ですが、私の住むマンションに隣接するマンションにも校友会生がいらつしやいます。

同窓会活動なので親睦が主です。成功した同窓生の集まりではなく垣根の低い、就職相談や人生相談、引越しの相談など気軽にできる仲間作りの場、助け合いの場、としても利用してくれればいいかな、と考えています。最近の支部総会開催先は、奈良公園、明日香の里、奈良町の蕎麦屋、などに於いて、観光地巡りと簡単な総会をしています。支部在籍者の1割弱が参加して下さっています。参加メンバーも少しづつ若返ってきて

います。コロナ禍が収まり総会が開けたら、支部長を若い方へバトンタッチし、新しい内容の活動に向かつてほしいなと考えています。  
新支部長の候補者の一人が、1995年社会学部卒業の松居範幸氏です。アメリカンフットボール部セインツで活躍し、パナソニックのアメリカンフットボール部でもコーチを務め、現在は社会福祉士、不動産業を自営されています。酒をたしなまないで女性も気軽に参加できる方向を作ってくれるのではないかと考えています。

他にも支部長をやりたいという方がいらつしやる事、お知らせくださる事を期待します。  
卒業したて、就職したて、研究生中の方など気後れせずご参加ください。  
牧野一元（1968年社会学部卒）

**アットホームな雰囲気でもなさんに  
非常に優しくしていただきました**

卒業した当初、同窓会は年が離れている方が参加しているイメージがあり、なんだか遠い世界のように思っていました。そんな私が兵庫県支部の同窓会に参加させていただいたきっかけが、大学時代に応援団チアリーディング部に所属していたことから、応援団の徳沢先輩に声をかけていただき、当時2歳の娘を連れて、参加させていただきました。

先輩以外は知っている方はいなかったため、子どもを連れてどう過ごすのか少し不安もあったのですが、参加してみると30〜80代までの幅広い方が参加しており、アットホームな雰囲気でもなさんに非常に優しくしていただきました。大学を卒業してからしばらく経ち、関東在住の友人も多く、なかなか交流できずにいましたが、こんなにも身近に優しい明治学院の先輩方がたくさんいらっしゃるということに気づけ、非常に嬉しく、楽しい時間を過ごさせていただきました。



また、私と同じように働きながら小さい子どもを育てる先輩ママもいらつしやり、非常に刺激にもなりました。兵庫県支部では、年1回の同窓会支部総会、名所史跡の散策、女性だけの集まりがありますので、今はコロナ禍のため、なかなか支部内で交流することは難しいですが、また元の生活に戻れば同窓会で優し

い諸先輩方・後輩にお会いできることを楽しみにしております。

谷 敦子（2011年心理学部卒）



前列、左から3番目が私、谷。左側列後の若い女性2人が、仕事と子育てで奮闘中。

**和歌山の魅力を  
再発見できる場にもなっています**

和歌山県支部の活動として、毎年11月頃に支部総会と懇親会を行ってきました。和歌山県全域にいる卒業生や近隣の県からも来てもらえやすいように開催

地を和歌山市・田辺市・新宮市と毎年開催地を変える工夫をしてみました。次の開催地は、和歌山市ですが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、昨年度と今年度は、開催中止をしています。来年度こそ和歌山市で開催ができるようにしたいと考えています。同窓会に来

います。和歌山支部は、和歌山に帰ってきている卒業生や仕事で和歌山に在住している

卒業生だけではなく、和歌山に興味をもってくれている全国の卒業生と気軽に和歌山のことや大学時代の思い出話な

**毎年夫婦で  
楽しみに参加しています**

皆様こんにちは。2015年経済学部卒の神谷です。現在、広島県支部で活動しておりますが、私自身の話を含めて同窓会を知ったきっかけと広島県支部の紹介をさせていただきます。

私は、卒業後は東京の会社に就職しましたが、学生時代から明学の同級生で縁があった妻との結婚を機に、妻の地元である広島県に移住することになりました。広島県の会社に転職し、仕事で知り合った同窓の方から明治学院同窓会広島県支部の総会にお誘いいただいたことで明治学院同窓会を知りました。

広島県支部の総会は年に1回開催しており、参加者の近況報告などを通して友好の輪を広げています。私の近況報告では、会社で行っている地域再生プロジェクトの一環でマリホ水族館を運営していることを紹介させて頂きました。マリホ水族館は日本で一番小さな水族館なので、話題性があったのか多くの先輩からご質問いただきました。それ以上に先輩方の興味は妻と私のことで、一緒に参加していた妻ともども質問攻めにあいましたが、終始楽しい総会でした。心温まる



交流ができ、以後毎年夫婦で楽しみに参加しています。2020年1月に国内で最初の新型コロナ陽性者が確認されてから2年になるうとしておりこの間は開催が出来ておりませんが、いつかまた総会の場で同窓の方と直接お会いして懇親を深めていきたいと思っています。

現在の同窓会の活動はコロナ禍のために多くの制限がありますが、今後は広島県支部の周年行事も予定しているの準備をしっかりと行っているところです。また広島県支部の同窓の中でも私が若手ということもあり、広島県の年齢が近い同窓の方を絶賛募集中でもあります。

私自身、総会への参加をきっかけに多くの同窓の方と知り合うことができ、広



どで盛り上がる事ができればと思います。和歌山県支部にたくさん卒業生が集まる事ができる日を願っています。

島に移住してからも明学の輪が広がっていることで充実した日々を送っています。明学の同級生が旅行や出張で広島に来た時には、同窓の先輩方から教わったお勧め店を紹介したり、お好み焼きを食べに連れて行ったり、たまに強引にマリホ水族館に連れていったり、卒業後は在

愛媛県支部

学時にもまして深い関わりになっていきます。明治学院同窓会広島県支部は時代とともに変化しており、支部も歩みをとめることはありませんが、年齢、性別、環境にかかわらず、多くの同窓生が連絡を取り合い語り合うというのは同窓生のなかで「友」のような不思議な感覚があるか

新しい参加者がまた来たいと思えるような支部会を目指しています

明治学院同窓会愛媛県支部です。(支部長 天野俊雄 1968年経済学部卒) 愛媛全域から明治学院同窓生が年に一度集まっています。年代は、30代から80代まで幅広い年代の方が集まっています。20代から参加している参加者もいます。和気藹々とした雰囲気、みなさん非常に楽しんでます。

意見交換の場では、若い参加者からの意見を尊重し、新しい参加者がまた来たいと思えるような支部会を目指しています。

懇代や仕事関係なく楽しく交流できるのが愛媛県支部の特徴です。明治学院に在学していたときの学校や部活、サークルの話をしたり、卒業後の話をしたりして交流を深めています。

支部長 天野俊雄 (1968年経済学部卒)

らかもありません。

現在、私は2児の父であり3歳になる娘と1歳になる息子に日々悪戦苦闘しながらも楽しい毎日を送っています。交通アクセスの面から言えば、東京から一番遠いとされている島根県の江津市というところに「温泉リゾート風の国」という宿泊施設を運営しはじめたりもしています。

●愛媛県支部総会に参加して

2017年に初めて参加しました。明治学院同窓会愛媛県支部総会のハガキが実家に届いて、支部総会を知りました。難しそうな会かと思いましたが参加してみると、イメージとは違い和やかな雰囲気でした。参加している方々は毎年集まるのを楽しみにしている様子で、新しく参加した僕を温かく迎え入れてくださいました。来年も楽しみにしているよと言っていただけ嬉しかったのを覚えています。

意見交換の場面でも若い人の意見が重要だからと積極的に会話に入れてくださいました。2019年に、2名いる副支部長の一人に任命いただいております。コロナ禍で活動が制限されておりますが、皆さんで集まれる楽しい時間がまた作れるように模索していきたいと思っております。

愛媛県支部総会一同皆様のご参加を楽しみにしております。ご質問等ありましたら、お気軽にお問合せいただけたらと

です。コロナに負けないように、どんなときでも「Dofor others」の精神を忘れずに明学の輪を広げられたら幸いです。そして最後に、自分の子どもにも「Dofor others」の精神を伝えていきたいです。

神谷崇行 (2015年経済学部卒)

思います。

副支部長 渡邊文雄 (2015年経済学部卒)



福岡県支部

世代の違う仲間たちが互いの親睦を深めています

福岡県支部は「福岡白金会」とも称しています。福岡県には「福岡県支部」と「北天野俊雄(1968年経済学部卒)九州支部」の2つの支部があり、「福岡県支部」は、北は福岡市から南は大牟田市まで、西は糸島市、東は福津市までのエリアの同窓生に情報を発信いたしています。

福岡支部の始まりは、1975年ごろに地元の同窓生にて集まって懇親を深めたことと、以来50年以上継続して年1回の同窓会総会を行っています。福岡県出身の同窓生、仕事の関係やご結婚されて現在は福岡にお住まいの方々に集まって仕事や趣味の情報交換や近況を語り合ってもらっています。

この1、2年はコロナ禍で集まれてないのが残念ですが、例年ですと、食事も、ゴルフ会やウォーキング会、クリスマス会等々のイベントを都度企画しており、世代の違う仲間たちが互いの懇親を深めています。明学らしく紳士淑女の集まり

明るく楽しくフランクで、気さくな先輩ばかりです

明治学院大学沖縄県支部会で現在、監査役をしております徳門若子です。私は明治学院大学社会学部社会学科に2001年4月に入学し2005年3月

で、皆さん昔からの知り合いのようなくともアットホームな会です。

現在の福岡支部は、およそ400余名の会員に登録いただいています。明学大の入試も福岡にて受験できるようにもなり、今後ますます福岡出身の同窓生は増えていくものと期待しています。

福岡県出身の同窓生はもちろん、転勤等で福岡にお住いの方も多くいらっしゃると思います。総会懇親会やイベント等の情報を希望される方には案内をメール



に卒業しました。現在、沖縄県支部で通年集まるメンバーは30歳後半から70歳後半という幅広い年齢層で、定期的に毎年20名前後が集まっています。

私が沖縄県支部に入るきっかけとなったのは10年前の不思議なご縁からでした。大学卒業後、東京で就職が決まり、

送信させていただけたらと思います。また、出張や帰省で福岡にお立ち寄りの校友の方も、何かございましたらお気軽にご連絡くださいませ。

木村浩司 (1964年英文科卒)



その7年後に再び地元の沖縄に戻るようになった頃は28歳。当時沖縄で働き始めた職場で、上司のお父様とお話する機会があり、その何気ない会話の中で偶然にも同じ明治学院大学出身だということがわかったのです。

そして「明治学院大学の沖縄県のOB会

があるから、ぜひ参加してみたら」と40歳以上も歳の離れた私に対しても、気軽に声をかけてくださったことが沖縄県支部に入るきっかけとなりました。地元とはいえど、高校卒業から10年も経っていて慣れない環境の中でスタートを切ったばかりでした。その中で「明治学院大学」という共通のワードを、まさか沖縄で聞けると思っていたいなかったのもとても驚いたこと、そしてその懐かしい響きに安心感と心強さを感じたことを今でも覚えています。

沖縄県支部の集まりのスタートは、毎回恒例、ひとりひとり自己紹介と近況報告から始まります。その後、皆で歌う明治学院大学の校歌の時間も一年ぶりに集まるメンバーの変わらない元気な声を聞ける楽しみの一つです。それぞれが通っていた当時の校舎の様子、明治学院の歴史、「Doforthers」の精神について。大学生活、ゼミの様子やサークル活動など、真面目な話から笑えるような様々な思い出話まで、会の最中はい

つも話題に事欠きません。

大学時代は、皆にとつての青春時代そのもの。キラキラと目を輝かせながらお話をしてくださるOBの先輩方の姿から、刺激や元気をもらえることが多々あります。集まる皆が違う時代を過ごしているにも関わらず、まるで青春時代を共有しているような不思議な感覚は同窓会に参加するならではのことだと思えます。

特に沖縄県支部の先輩たちは、明るく楽しくフランクで、気さくな先輩ばかりです。そして、さまざまな職種でご活躍されている人生の大先輩でもあります。若い世代の私にとっては、人生の学びとなる本場に貴重な時間をこの会で過ごしています。大学の卒業後も世代を超えて新しい人間関係が作られ、社会の中で関わりをもっていけるというご縁を大切にしながら、今後は、若い世代の卒業生にとつてもよりオープンな場所になるように、先輩方が守ってきた沖縄県支部を引き継いでいければと思っております。



## ハワイ支部

### ハワイでのこと 支部の先輩に相談してみてください

明治学院同窓会HAWAII支部の支部長は Sachiko Sandy Hatori さんです。

HAWAII支部には現地流通法人の社長、ツーリスト、リアルター、アートギャラリー経営者などバリエーションに

ハワイに留学したい、ハワイで仕事についてみたいという現役の学生、同窓生

とんだ同窓生がホノルルを中心に活躍しています。現在、コロナ渦で、渡ハがままならない状態ですが、コロナ前は毎年、東京ブロック長岡岡田がホノルルに訪れる機会に同窓会の総会を開いていました。写真は2020年1月10日 Kaku's Sushi & Seafood Buffet で会員8名ゲスト3名の計11名で開催した総会です。

のみなさんはぜひHAWAII支部の先輩に相談してみてください。きっと頼



りになりますよ。

岡田邦男（1983年社会学科卒）

### 全国どこからでも入会できる 女性の同窓会です

「くらしら会」は、明治学院で学んだ女性の同窓会です。設立は2014年、現在の会員数は約100名です。

「くらしら会」という名前は、明治学院の創設者であるヘボン博士の妻のクララの名前にちなんでつけられました。明治学院は女子学生数が全学生数の半分以上を占めています。女性の優れた能力と柔軟な発想を同窓会の活性化につなげたいと「くらしら会」を立上げました。「くらしら会」は同窓会の東京ブロックに所属していますが、本来的には地域性を持たない支部として誕生しました。全国どこからでも入会出来る同窓会です。

「くらしら会」は、アフターヌーンティーの集い、クリスマス、散策やホテルランチなど親睦を目的とした活動の他に、社会的な活動として年3回、バザーを開催して、その収益を明治学院大学ボランティアセンターの活動資金としてお届けしていることに特徴があります。これは卒業生としての在校生へのささやかな支援です。

「くらしら会」のモットーは、「出来る人が出来るときに、出来る事をする」です。若い時は仕事、結婚、育児家事、子ども

の教育に時間を取られ、その後は親の介護や連れ合いの介護などが続くことで、現実的には男性よりも同窓会活動に参加出来にくい状況にありがちな女性同窓生が、その置かれていた立場から同窓会活動に参加出来る一つの形であり、大切な社会的活動への参加です。バザーへの参加は、同窓会の活動に参加出来ない方もバザーの品物を寄付して頂く事で、バザーという場を通して品物が現金化されることで、在校生支援に結びついています。

「くらしら会」の現在の大きな課題は、未来への継承です。新しい時代の「くらしら会」を創るための引き継ぎの時期が来ています。同窓会は「おじ様」「おば様」の集まりみたいで魅力がないという若い卒業生の声が増えてきていますが、「くらしら会」の「おば様達」は、案外見捨てたものではありません。おしゃれでセンスが良く、個性的で、色々な人生を経験してきた心強い同窓生の集まりです。若い方達と一緒に何かを作り上げてゆく可能性を十分に備えています。現在の「くらしら会」はまだまだ微力ですが、会員の心を温かく充たしながら、周りの人々のために出来る事を求めて、果てしなく広がる海原に向かって粛々と進んで参ります。

現在、各地の同窓会の中に女性の会が創られ始めています。この各地の女性の会がそれぞれ独立した活動をしながら、横の連携をすることで、明治学院同窓会の底力になるのではないのでしょうか。小さな日々の活動も、いつかは大きなうねりになって行くはずですよ。一緒に活動を進めてみませんか。女性同士の気の置けない親睦を楽しみ、同時に社会的な活動にあなたのお時間を提供して下さいませんか。ご連絡お待ちしております。

代表 柏木美和子  
（1966年・2007年社会学科卒）



# 同窓会 全国・海外 支部一覧

居住地、出張先などでの最寄りの支部活動へのご参加、大歓迎です。詳しいお問合せは同窓会本部にご連絡下さい。

## 海外支部

- ロサンゼルス支部
- ニューヨーク支部
- シアトル支部
- ハワイ支部
- パリ支部
- 英国支部
- オーストラリア支部
- 韓国支部
- 香港華南支部
- 上海支部
- 台湾支部

## その他

- ウィメンズくらら会
- 東京ヘボンクラブ

## 九州・沖縄ブロック

- 福岡県支部
- 北九州支部
- 佐賀県支部
- 長崎県支部
- 大分県支部
- 熊本県支部
- 宮崎県支部
- 鹿児島県支部
- 沖縄県支部

## 北陸ブロック

- 富山県支部
- 石川県支部
- 福井県支部

## 近畿ブロック

- 奈良県支部
- 大阪府支部
- 兵庫県支部
- 京都府支部
- 滋賀県支部
- 和歌山県支部

## 東北ブロック

- 青森県支部
- 岩手県支部
- 秋田県支部
- 宮城県支部
- 福島県支部
- 山形県支部

## 甲信越ブロック

- 新潟県支部
- 長野東北信支部
- 長野中南信支部
- 山梨県支部

## 中国・四国ブロック

- 岡山県支部
- 広島県支部
- 鳥取県支部
- 島根県支部
- 山口県支部
- 香川県支部
- 愛媛県支部
- 高知県支部
- 徳島県支部

## 北海道ブロック

- 札幌支部
- 小樽・後志支部
- 道南支部
- 道北支部
- 北見支部
- 釧根支部
- 十勝支部

## 東海ブロック

- 愛知県支部
- 岐阜県支部
- 三重県支部
- 静岡県東部支部
- 静岡県中部支部
- 静岡県西部支部

## 関東・神奈川ブロック

- 川崎支部
- 横浜支部
- 湘南中央支部
- 湘南支部
- 東湘南支部
- 神奈川北相支部
- 相模原支部

## 関東・埼玉ブロック

- さいたま浦和支部
- 埼玉川口支部
- 埼玉大宮支部
- 埼玉川越支部
- 埼玉熊谷支部
- 埼玉西南支部
- 埼玉西部支部
- 埼玉東部支部

## 関東・東京ブロック

- 東京大田支部
- 東京品川支部
- 東京世田谷支部
- 東京多摩西部支部
- 東京多摩東部支部
- 東京中央支部
- 東京港・目黒支部
- 東京城西支部
- 東京城東支部
- 東京城北支部

## 北関東ブロック

- 群馬県支部
- 群馬桐生支部
- 群馬北毛支部
- 群馬東毛支部
- 群馬伊勢崎佐波支部
- 栃木県支部
- 足利・佐野支部
- 茨城県支部
- 茨城みなみ支部

## 関東・千葉ブロック

- 千葉中央支部
- 千葉房総支部
- 千葉北総支部
- 千葉東葛支部
- 千葉船橋支部
- 千葉そとぼう支部



掲載希望者の方々へ

掲載をご希望の方は、以下の「掲載希望ご記入欄」に必要事項をご記入いただき、同窓会事務局へ FAX でお送りください。

ご紹介いただく場合も、ご紹介者の欄にも必要事項をご記入の上、同様に事務局へ FAX でお送りください。

折り返し事務局よりご連絡申し上げます。

事務局 FAX: 03-3441-0970

掲載に必要なデータをご用意ください。

左の画面①は、「明学ストリート」の検索ページの「カテゴリーで探す」で「酒蔵」をクリックした時の画面です。掲載する会社の以下の情報をご用意ください。

- ② 会社名
- ③ 製品写真(2点まで)
- ④ 出店同窓生の顔写真
- ⑤ キャッチフレーズ(36字以内)
- ⑥ 商品や会社の PR(300字以内)
- ⑦ 所在地、TEL
- ⑧ リンクをご希望の URL

掲載希望ご記入欄

お名前	フリガナ	最終学校(大学卒の場合は学部)		卒年
		<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 東村山中学	<input type="checkbox"/> 東村山高校
ご住所	(〒 - )			年
TEL	- -	メールアドレス	@	
出店会社情報	会社名 屋号等	TEL	-	-
	住所	(〒 - )		
	URL			
ご紹介者	フリガナ	最終学校(大学卒の場合は学部)		卒年
		<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 東村山中学	<input type="checkbox"/> 東村山高校
ご住所	(〒 - )			年
TEL	- -	メールアドレス	@	

※掲載希望の方々は、別途契約手続きと掲載内容の審査がございます。

心をつなぐ

明学 STREET

同窓会ホームページからリンクする、同窓生が関わる名産品・お店・銘酒・宿などの情報を発信するサイト「明学ストリート」の紹介です。



「明学ストリート」は、明治学院同窓生が経営に携わるお店が並ぶストリートです。

全国各地に広がる明学同窓生のお店やお宿などの情報を紹介いたします。

オンラインで逸品を購入したり、出張や旅行で行かれた土地の同窓生のお店を訪ねたりと、

明学同窓生同志のコミュニケーションを深めるツールとしてご利用ください。

すでに40を超える同窓生のお店が掲載されています。

ご紹介いただける同窓生のご連絡をお待ちしております。

また、ご紹介いただける同窓生のご紹介も大歓迎です。

[明治学院同窓会ホームページのトップページ]



[「明学ストリート」の検索ページ]

